

第 6 4 7 富良野市農業委員会議事録

1、開催日時 令和6年1月19日（金） 15：30～16：46

2、開催場所 富良野文化会館 会議室A

3、出席委員

1. 佐々木 雅 志	2. 中 元 修	3. 萩原秀行	4. 猫 山 幸 稔	5. 坂 口 邦 夫
6. 渡 辺 昌 彦	7. 前 田 秀 保	8. 佐 藤 輝 夫	9. 岡 田 憲 雄	10. 福 永 伸 二
11. 藤 野 和 紀	12. 及 川 栄 樹	13. 宮 川 隆	14. 清 水 直 樹	15. 小 川 賀 津 博
16. 杉 村 鉄 也	17. 井 上 透	18. 今 村 丈 哲	19. 仁 原 憲 和	20. 山 形 真 一
21. 増 田 郁 哉	22. 天 間 敏 行	23. 小 林 賢 次		

4、出席事務局員

事務局長

長 尾 敏 寿

事務局係長

安 彦 賢

事務局員

~~上 崎 宏 一 朗~~

5、議事参与者

富良野市長

北 猛 俊

農林課長

松 木 政 治

(局長) ご起立願います。 礼。

農業委員憲章 朗読

(局長) ご着席下さい。

只今より、第647回、令和6年第1回富良野市農業委員会総会を開催致します。

本日の欠席通知を受けている委員は、3番 萩原 秀行 委員の1名です。

したがいまして、在任委員の過半数以上の委員が出席していますので、富良野市農業委員会会議規則第6条の規定により本会議は成立致します。

本日の議事日程について、説明を致します。

本日の日程は、議案書のとおり8日程であります。本日の議案事項は、市長よりの諮問議案1件、報告事項3件、協議事項1件であります。

本日の配布議案及び資料について説明を致します。富良野市農業委員会総会議案1部、令和5年度農業をめぐる情勢1部、令和5年度富良野土地改良区・空知川上流土地改良区事業概要1部、農業委員会の法律遵守の申し合わせ決議1部、令和6年富良野市農業委員会総会日程(案)1部、農業委員会だより Vol.45 1部、畑地化促進事業申請受付について1部、地域計画策定に向けての「協議の場」について1部、以上であります。

議事日程

日程1 会長あいさつ

議事日程

(局長) それでは、議事日程に従い進めて参ります。

日程1 会長より開会のご挨拶をいただきます。

会長あいさつ

(会長) 開催に先立ちまして一言ご挨拶をさせていただきます。皆様、明けましておめでとうございます。本年も

どうか宜しくお願い致します。

今日は事務局の上崎君が体調不良という事で初めて欠席を致します。また、本日は、今年最初の総会という事で、北市長におかれましては、公務が大変ご多忙の中、農業委員会総会にご出席をいただき、大変ありがとうございます。改めて農業委員会の活動を見ていただきたいなと思っております。

さて、年が明けまして約3週間近く経っております。新年が明けたら、大変嬉しい事が多いのが一般ですけれども、皆様ご承知のとおり、本年におきましては、能登半島の地震、更には、羽田空港での民間機と海上保安庁の飛行機が接触をしての事故等、年明け早々に暗いニュースが多かったと思います。加えて、芸能人の方も年明け早々から亡くなっているという事で、今年1年どうなるのだろうという形でスタートを切ったのかなと思っております。

さて、連日放送されておりますけれども、能登半島の地震については、海底隆起や地割れ、液状化による家屋の倒壊で、被害が増加しているのかなと思います。東日本大震災の時には、津波による被害が主という事で、地上の上物が全損というのがございました。しかし、今回の能登半島の地震については、地形そのものが大きく変わる程の地震という事で、おそらく私の素人判断でも、東日本大震災のような感じでは済まない位、非常に時間と労力がかかる復興になるのではないかなと思っております。火災を受けた所もそうですけれども、海底が隆起して港が港でなくなってしまったという、映画を見ているような事が現実に起こってしまったという事については、本当に私達も驚いておりますけれども、現地の人々にしてみれば、この先どうしたらいいのだろうという思いしかないのかなと思っております。その事も含めて、自衛隊を始め全国各地から色々な支援が差し伸べられております。今日の北海道新聞にも載っておりましたけれども、富良野協会病院のリーマットチームが現地に向かったという事で、現地に行って被災者に勇気づけるような活動をしてくれるのかなと思っております。また、ラインワークスでも皆さんにお伝えしましたけれども、当農業委員会としても、被災地に義援金を互助会から出させていただきました。その事を改めて報告させていただきたいと思っております。

さて、本年は、東京オリンピック開催から60年経った年でございます。今年の7月には、フランスのパリでオリンピックが開催されます。昨年、WBCを始め、日本人選手におけるスポーツの活躍では、大変我々も勇気づけられた事が多くございました。今年もパリオリンピックには日本人選手の活躍をより一層期待する事と共に、更には、今年は紙幣も新しくなるという事で、紙幣が新しくなることによって、日

日程2 市長あいさつ

市長あいさつ

(局長) 日程2 市長あいさつ。

市長よりご挨拶をいただきます。

(市長) 新年あけましておめでとうございます。今年も宜しく願い致します。

今日は、年明けの第1回目の総会という事でお招きをいただきました。また、この総会にあたってお話をさせていただけるという事を大変光栄に思います。また、本年で言えば、農業委員さんの改選期という事で、体制は変わるかもしれませんが、今、地域計画のお話もありましたけれども、農業委員の皆さんには、何かとご尽力、ご協力、ご迷惑をおかけすることがたくさんあるかと思えます。重ねて、宜しく願い致します。

年度初めという事でしたら、昨年を振り返る話から今年にける思い、そんな事が称されるわけでありませうけれども、農業委員の皆さんにおかれましても、新年度に向けての様々な思いがあろうかと思えます。農業情勢で言えば、昨年的高温と相まって雨が降るという状況の中で、農作物の生育、できた作物の病気、そういうものから収量減という事で大変な1年だったと思えます。農協の役員さんもおられるので、お聞きかとは思いますが、農作物としての収量は減になっていますが、収量が落ちると値段が上がるので、販売単価は良かったという事で、農協の売り上げ自体は、お聞きをするところでは、310億円を超えるのではないかと発表しております。そういった事から、昨年に続く農業情勢としては良い年だったのではな

本における経済的効果というのが非常に高くなっていくと言われておりますので、年末には明るい年になっていただきたいなと思っております。

農業委員会にとっては、4月1日より新たな女性委員を4人含むメンバーでのスタートとなります。昨年12月に、市長部局より、地域計画のスケジュールが出されました。農業委員会にとっては、地域での話し合いの中心的なリーダーとして、今後力量を発揮されるわけですが、目標地図作成に向かってですね、皆様が協力をしながらこの目標達成に頑張りたいと思っております。

今日はこの後、色々ありますので簡単ではございますけれども挨拶とさせていただきます。

今日は宜しく願い致します。

いかとも感じております。しかしながら、先程も申し上げたとおり、暑さの中で今年の農業に向かう時の対策と申しますか、注意しなければならないこと、そんなものも多くみられた年でもあったかと思えます。暖かくなれば採れるという事ではなく、お米も収量減という事でありましたし、品質も下がったとお聞きもしております。そういった中では、暑さ対策、あるいは灌水の率、そして、暑さの中や雨の中の栽培管理、こういったところで取り組むかも大変なところがあるかなと思えます。加えて言えば、ロシアがウクライナに侵攻したという頃から始まって、世界全体の中でのエネルギーの価格上昇というところから、日本国内でも物価高、そして肥料の高騰というような事が起きております。肥料の高騰につきましては、国の支援もいただきながら対応を図っているところではありますが、今回の経済対策の中でも、化学肥料から有機質に変えていく、そんなきっかけを作ればなということで、有機質肥料の関係の補助も、今回の経済対策の中で盛り込ませていただいております。決まるのが1月28日の臨時会で予定させていただきますので、議会のご理解もいただきながら決定をしていきたいと思っております。そういったように農業の中での技術であったり環境であったり、色々な事が変わろうとしてきております。新たな農業環境情勢に向けた、それぞれの農業者の努力、あるいは、ビジョンというのが必要になってこようかと思っております。そういった中では、先程も少し触れましたけれども、一定価格、これの重要性というのは、今更ながらではありますけれども、高まってきているなとも思っております。農業委員の皆様にご協議をいただかなければならないところが、この中に盛り込まれてくるのかなというように感じております。お札の話もありましたが、お札を見る機会はあると思いますが、中々自分の所に留まってくれないというもどかしさも感じておられるかと思えますけれども、まずは、経済が潤沢にあって、初めて安定した経営があり、その中から、自分達の気持ちも落ち着ける、冷静になってもものを見られる、世の中を見られるということにもなっ てこようかと思っております。世の中を見るという事になれば、全体的に働く方が不足しているという事でもあります。昨年に、組合長も海外の労働力を頼って集めてこられたというお話もお聞きしておりますけれども、そうした足りない分を補うための取り組みというのも大事になってこようかなと思っております。これは、日本全体、世界全体の経済の絡みも出てきておまして、日本にそう言った方々が安心して、期待を持って来ていただけるような環境を作っていくというのも農業環境を作っていくところのひとつかなと思っております。是非、様々な課題があつて大変な令和6年になるかと思っておりますが、皆様方の改めてのご尽力を重ねてお願い申し上げます。

結びになりますけれども、今日の総会、滅多に出られないものですから、今日は少し皆様のご意見を聞かせていただこうと思っております。是非、今年1年が充実した1年、そしてまた、健康でご活躍される1年になりますようにご祈念させていただいて、開会にあたってのご挨拶に代えさせていただきます。どうぞ宜しくお願い致します。

(局長) 富良野市農業委員会会議規則第4条の規定により会長に議事を進めていただきます。

(議長) それでは、議事日程に従いまして進めて参りたいと思います。

なお、議事進行にあたり、ご意見・ご質問をお伺いしますが、質問等がある場合は挙手のうえ、指名後に起立し発言をお願い致します。また、ご質問・ご意見がない場合はなしとのご発言をお願いします。

日程3 議事録署名委員指名

議事録署名委員指名

(議長) 日程3 議事録署名委員指名について 富良野市農業委員会会議規則第14条第2項の規定により、本日の議事録署名委員を指名致します。

2番 中元 修 委員 13番 宮川 隆 委員 を指名致しますので
よろしく申し上げます。

日程4 報告第1号

諸般報告について

(議長) 続きまして、日程4 報告第1号 諸般報告 につきまして事務局より報告願います。

(局長) 【朗読説明】

(議長) 只今、前回総会以後の委員会の活動の報告がありましたが、何かご質問はございますか。

(全員) ありません。

(議長) ありませんとの事ですので、報告第1号については、終了させていただきます。

日程5 報告第2号

農地移動適正化あっせん事業について

(議長) 続きまして、日程5 報告第2号 農地移動適正化あっせん事業について 事務局より報告願います。

(係長) 報告第2号 農地移動適正化あっせん事業について 農地移動適正化あっせん事業による農用地等の売渡、貸付、交換の申出のあった ○○ ○○ 外2件 について次のとおりあっせん委員を指名したので報告致します。

○○ ○○ 外2件 について【議案 朗読説明】

(議長) 只今、3件につきまして報告がありましたが、皆様の方からご質問・意見等ございましたら、お受けしたいと思います。ございませんか。

(全員) ありません。

(議長) ありませんとのことですので、報告第2号については、終了致します。

可決される

日程6 報告第3号

農地法第18条の規定による解約について

(議長) 続きまして、日程6 報告第3号 農地法第18条の規定による解約について 事務局より説明を願います。

(係長) 報告第3号 農地法第18条の規定による解約について 農地等の賃貸借の解約の申し入れ又は合意による解約のあった ○○ ○○ について、農地法第18条第6項に規定する通知書を受理したので報告致します。

○○ ○○ について【議案 朗読説明】

(議長) 只今、事務局より1件の説明がありましたが、何かご質問・ご意見等ありましたらお受け致します。ありませんか。

(全員) ありません。

(議長) ありませんとの事ですので、報告第3号については、終了致します。

日程7 諮問第1号

農用地利用集積計画の決定について

(議長) 続きまして、日程7 諮問第1号 農用地利用集積計画の決定について 事務局より説明願います。

(係長) 諮問第1号 農用地利用集積計画の決定について 富良野市農業経営基盤強化促進基本構想の規定により利用権の設定等の申出がなされたので、農用地利用集積計画に関する経過措置により、改正前の農業経営基盤強化促進法(昭和55年法律第65号)第18条第1項の規定により、農用地利用集積計画を定めるにあたり、市長より諮問がきておりますのでご審議願います。

【議案 朗読説明】

以上4件につきましては、農用地利用集積計画に関する経過措置により、改正前の農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えます。以上です。

(議長) 只今、事務局より4件の説明がありましたが、何かご質問・ご意見等ありましたらお受けを致します。ありませんか。

(全員) ありません。

(議長) ありませんとの事ですので、4件について、認めるべく決定としてよろしいでしょうか。

(全員) はい。

(議長) それでは、4件について、認めるべく決定と致します。

可決される

(議長) 以上で諮問第1号については、終了致します。

日程8 協議事項

(1) 次回(第648回)委員会総会日程について

(議長) 続きまして、日程8 協議事項 次回委員会総会日程について 事務局の報告を願います。

・次回委員会総会日程について 局長より説明

(議長) 以上の報告の日程となっております。

次に参ります。

(2) 委員提案事項について

(議長) 続きまして、委員提案事項について何かございませんか。

- ・ 令和5年度農業をめぐる情勢について 藤野委員より報告

(議長) 只今、藤野委員よりご報告いただきましたが、皆様から何かご質問・ご意見等ありましたらお受けを致します。ありませんか。

ないようですので、先に進みます。

- ・ 令和5年度富良野土地改良区・空知川上流土地改良区事業概要 福永委員より報告

(議長) 只今、福永委員よりご報告いただきましたが、皆様から何かご質問・ご意見等ありましたらお受けを致します。ありませんか。

ないようですので、先に進みます。

他ございませんか。

なければ、以上で委員提案事項について、終了させていただきます。

(3) その他

(議長) 続きましてその他、今後の日程について事務局より報告願います。

今後の日程等について 局長より報告

(議長) 以上の日程となっておりますので、宜しくお願い致します。

次に参ります。

続きまして、申し合わせ決議について、事務局より説明をお願いします。

農業委員会の法律順守の申し合わせ決議について 局長より説明

(議長) 決議を求めるとあります。

富良野市農業委員会として決議することよろしいですか。

(全員) はい。

(議長) それでは、この件に関して、富良野市農業委員会として決議することと致します。

報告事項について

- ・ 令和6年富良野市農業委員会総会日程(案)について 係長より報告
- ・ 農業委員会だよりの発行について 係長より説明
- ・ 畑地化促進事業の申請受付について 農林課長より説明
- ・ 地域計画策定に向けての「協議の場」について 農林課長より説明

(議長) ありがとうございます。非常に大切な説明だと思いますけれども、皆様方からご質問ございませんか。

(〇〇委員) はい。

(議長) はい、〇〇委員どうぞ。

(〇〇委員) 地域計画と畑地化促進事業の説明をいただいたわけですが、畑地化促進事業を進めた方と、これから畑地化を予定している方、地域計画策定の協議の場で、データとして相当数資料としてないと、中々この地域計画を策定する上で難しいのかなと思います。それぞれの農地台帳に畑地化のデータ資料があると、農業委員会全体としての作業効率も上がるでしょうし、地域計画の協議の場において、畑地化の根拠となるデータが必要なのかなと思いますが、その辺の説明をいただきたいと思います。

(農林課長) 畑地化に関しては、令和5年度から始まったばかりですので、マップにリンクさせるというのは大変な作業になりますので、この期間に間に合うのかどうかというのがありますが、出せるようにはしたいとは思っております。ただ、個人情報も多く含まれるという事も踏まえたと、まだ先かなと思います。まずは、先程ありました意向調査の結果は、綴じられた中で共有させていただくのは可能かと思っております。どこまで個人情報にまつわるものを出すかというのを慎重にしなければならないと思いますが、協議される皆さんが知らなければ、中々協議も進まないというのもございますので、畑地化がまた今年スタートしますので、令和6年度の調査の中で検討を進めなければいけないという事もございますので、その辺も考

えながら進めていきたいと思います。

(議長) よろしいですか。

(局長) ちょっとよろしいでしょうか。

(議長) どうぞ。

(局長) 今の坂口委員のご質問に関係する事でお答えしたいと思います。どこの場所が畑地化されたかという情報に関しましては、農林課で担当者が今整理をしております。その情報をいただいて、地番のどこの部分かという所に色付けして、分かりやすくしようという作業を農業委員会でやっている途中です。今、農林課長がおっしゃられたような資料が間に合うかと言ったら、全地域については2月の段階では間に合わないと思いますけれども、こちらの情報がないとどこが畑地化して、その後それを使うのか使わないのかというのは、10年後を考えた時に影響が出ると思いますので、事務局としては時間がかかるとは思いますが、順次情報をもらいながらやっていこうと思っています。以上です。

(議長) 他ございますか。

僕の方から聞いてよろしいでしょうか。

畑地化の関係で、例えば、昨年畑地化を申し込んでなかった土地が、売買に出てきて、今年所有権が移転した場合に、その人が畑地化申請するリミットのなものというのはありますか。

(農林課長) 2月2日が最初のスタートです。昨年の流れと全く同じですけれども、令和6年度の補正予算までに概算として掴みたいので、今の予算で間に合うかどうか検討をしたいということで、昨年も年末に、大きな予算が付きました。その辺の国の考えとしては今年、ご存じのとおり全国から手が上がり14万人に変わりました。そういう事がありますので、一旦2月2日を締めとさせていただきたいという考え方です。令和5年度の手続きの中で、順次出入りがあった分は、かなり苦労して農政事務所とのやり取りがありました。なぜ最初に手を挙げたのに変わっているのかというところを非常につかれまして、ですのでそこは厳守させていただきたいと思っています。僕から言えるのはそこまでです。

(議長) 例えば、集積計画書は作成して2月の総会案件として出るのであれば、2月2日までに集積計画書を作成すればそれはそれとして提出してもいいという形にはなるのですか。

(農林課長) そうです。

(議長) わかりました。

他ございませんか。非常に大事な話だと思うのですが。

(〇〇委員) はい。

(議長) はい、〇〇委員どうぞ。

(〇〇委員) 今日、集積の関係で山部の農業委員が集まっていました。実際に畑地化の部分が出てきた中で、農業委員自体の労力が、今までの倍近くかかるというのが、今回やってみて思いました。そこにかかる部分は仕方がないと思うんですけども、畑地化の部分で、現在採択されたデータが表の一覧でも構わないので、簡単に見てわかるような形で出していただくとありがたいです。今後の農作業等の影響も出てきますので、ご検討いただけたらというお願いです。

(農林課長) 先程、局長からもありましたとおり、随時精査していかなければならないと思っておりますが、かなりの筆数で何万筆あります。先程、〇〇委員もおっしゃったとおり、畑地化で186名の方が、来年はもっと増えるかもしれません。その管理を5年間していかなければならないということで、その管理の方法を農政事務所とどういようにやっていくのかを協議しなければならぬとは思っております。わかりやすく見やすくは僕らも願っているところでして、その辺も含めて検討していかなければならないので、ご意見として一旦受け止めさせていただきますが、簡単にできるかというのは即答できませんのでご了承ください。

(〇〇委員) 実際の売買に持っていくまでに、畑地化されている地番と名前が特定できるものがあれば助かりますので、何とか調整して出していただければと思います。

(農林課長) 分かりやすくというのは別として、地番は出せると思います。

(議長) 他、ございませんか。

(〇〇委員) はい。

(議長) はい、〇〇委員どうぞ。

(〇〇委員) 先程期日のお話をもう少し詳しくお聞きしたいのですが、先程2月2日が最終日というお話でしたけれども、実際にその時まで最終的な集積の手続きが間に合わない場合、2月後半だとか3月に間違いなく売買ができるという見通しがある中で、その部分の土地について畑地化で申請することは可能でしょうか。

(農林課長) 柔軟には思いますけれども、見通してやった部分を昨年農政事務所からかなり指摘を受けて出戻り

が多かったので、それについては期日までには払いませんというのを受けております。そういう事を考えますと、あやふやな形で進むのは危険だと思います。後で出戻りがあってというのが今回手続き上結構ありましたので、そこを避けたいなというのがありまして、今年度の受付はそのようにさせていただきます。ただ、こういったご意見は承って、どこまでがリミットになってくるのかは、最終的に提出する総合振興局と農政事務所との調整になりますので、改めて説明会等で必要な時に回答させていただきたいと思えます。

(議長) 他ございませんか。

(〇〇委員) はい。

(議長) はい、〇〇委員どうぞ。

(〇〇委員) 承認を受けた人で何かの事情で離農しなければならないという場合は理解してもらえますか。農業が出来なくなった場合、誰かに売買という形になると思うのですが、その人の土地はどういう扱いになるんですか。

(農林課長) 即答できないパターンが沢山あると思うんですが、畑地化申請につきましては、5年間畑地化するという事が前提ですので、そこに関して返還という事もありえるかなとは思えます。ということしか今の段階では言えません。

(議長) 他ございますか。

なければ、以上で議事を終了させていただいてよろしいでしょうか。

(全員) はい。

(議長) 以上で議事を終了致します。

(局長) それでは、会長より閉会の挨拶をいただきます。

閉会

会長あいさつ

(会長) 今日は、今年第1回目総会、年明け新年1月9日からということで、総会がいつもより若干早いので、今回、集積計画が4件しかないという事で、非常に内容的には短い中身でしたけれども、後半の農林課からの説明が、非常に重みのある説明をしてくれたのかなと思えます。我々農業委員にとっては、2月13日から地区協議の開催もされるという事で、いよいよ地域計画に向けて動き出したという事は、非常に私達

にとっても喜ばしい事なのかなと思っております。

さて、先程農協の資料を見て驚いたんですけれども、鳥獣害の関係を見てみますと、やたらと富良野は熊が多いようです。全体の45%が熊の頭数を富良野が取っているということで、鳥獣害にとっては住み心地の良い所なのかなと思っております。ただ、逆に言うと、農業者あるいは、行政にとっては、その分非常に重みになってくるという事で、今後についても地域の方も参加をしながら、鳥獣対策をしなければならないものかなと思っております。

災害は忘れた頃にやってくるというお話がありますけれども、能登半島のような大きな災害については、いくら備えを取っていても、防げないものはあると思っておりますけれども、農業者にとっては、農作業中の事故というのは、富良野においても年に何件か見かけます。トラクターにヘルメットや消火器を乗せたり、救急箱や止血が出来るような布を乗せたりしている農家もあります。私も消火器については、トラックやトラクターに乗せております。たった1本の消火器があったことによって、火災を防ぐ事が出来たという事も体験しております。あの時消火器がなければ、何百万円の機械が焼失したのかなというのを実際に体験しておりますので、これからハウス作業も含めて、皆様委員におかれましては、農作業がどんどん忙しくなってくる時期がありますので、できる範囲の備えをしていただいて、万が一の時の安全対策をしていただければいいなと思います。

今日は、夜に新年会という事で一席用意をしております。皆様方、それぞれ今年の思いや目標等があると思っておりますけれども、その事を語りながら良い年になることを願って楽しみたいと思います。

今日は、市長におかれましてお時間、ご臨席を賜りました事を、お礼を申し上げて、雑駁ではございますが終わりの挨拶とさせていただきます。

本日は大変ご苦勞様でございました。

(局長) ご起立願います。 礼。 ご着席ください。

以上をもちまして、第647回 令和6年第1回富良野市農業委員会総会を閉会致します。

以上富良野市農業委員会会議規則第14条第2項の規定により、ここに署名する。

令和 6 年 2 月 22 日

議長 及川 栄樹

署名委員 中元 修

署名委員 宮川 隆